

議会  
会だより

# から

2026.1.30  
No.106

福岡県香春町議会

祝 令和8年香春町二十歳を祝う集い



# 祝 私たちの門出

## 12月定例会

主な内容

- 議員の想い……………2
- 一般質問 12人が町政を問う……………8
- 輝く20歳の声……………20

「行動」で未来を創る。  
 スtockヤード対策に邁進。  
 企業との包括連携を軸に、  
 2期目の覚悟をもって  
**「まちづくり」を推進**します。



やました たけし  
**山下 剛 議員**

町民に寄り添い、  
 要望や困り事を解決するため、  
 町政に何度も**粘り強く働きかけ**、  
**実現**できるよう頑張ります。



しもむら かずこ  
**下村 和子 議員**

将来に向けての  
**町づくり**のために  
 全力で頑張ります。



すずき おさむ  
**鈴木 治 議員**

# まちへ 可能な づくり

**町民と歩む議会へ。**  
 議会改革を進め、  
 身近な議会を目指し  
 全力で取り組みます。



こまつ しんいち  
**小松 新一 議長**

**「ゆりかごから墓場まで」**  
 このスローガンを原点に  
 町民の皆さんと共に  
 社会福祉活動に貢献していきます。



むらかみ ひさとし  
**村上 寿利 議員**

「防災・教育・地域連携」で  
**香春を前へ。**  
 真摯に学び、実行に移し、活力ある  
 町政へとつなげる一年とします。



みむら しんや  
**三村 信也 議員**

ふるさと納税寄付金は5億を超え、町民のため有効に使ってほしい。  
**住みよいまち香春**をつくっていきます。



やまおか とおる  
**山岡 徹 議員**

香春町を取り巻く課題、将来を見据え、  
**次世代へと繋ぐ想い**に  
知恵と汗をふりしぼり、  
全力で取り組んでいきます。



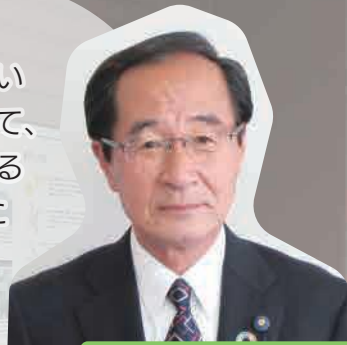
ながた たいち  
**永田 太一 議員**

香春町に住んでよかったと思える**交通支援**を目指します。



ふくしま ひろゆき  
**福島 浩之 議員**

住民の暮らしに寄り添い  
地域課題の解決に向けて、  
誰もが安心して暮らせる  
**活力ある町づくり**に  
一層努めます。



すずき りょういち  
**鈴木 良一 副議長**

**地域の課題に挑み、**  
住みよい町を  
目指して歩む  
希望あふれる午年へ。



ながまつ しんいち  
**永松 伸一 議員**

かわらくバスの町外運行に  
取り組みます。  
竹林整備で特産品の拡大を  
図ります。  
**皆様の声を町政に**届けます。



おおつぼ まつお  
**大坪 松雄 議員**

団塊世代が後期高齢者となる  
超高齢化時代の到来を見据え、  
**介護・医療・福祉の**  
**問題に取り組み**ます。



ふじい きよたか  
**藤井 清孝 議員**

# 輝く 持続 まち

# 子育て広場

審議結果をCHECK



議会情報はこちらから

議員の想い

定例会

委員会活動

傍聴者の声

一般質問

## 令和7年度一般会計補正の概要

歳出歳入予算の総額に1億4,450万円を追加し、予算総額は87億3,681万円。

主な補正予算は、障がい福祉サービス利用による扶助費や私立保育園への運営委託料などです。

## 12月定例

令和7年12月議会は、12月9日（火）から16日（火）までの8日間開催。議案・発議等16件は、すべて原案のとおり可決しました。

### 原案可決

### 組合の統合に向けて

議案第45号 田川地区斎場組合規約の変更について

議案第46号 田川地区斎場組合の解散について

議案第47号 田川地区斎場組合の解散に伴う財産処分について

議案第48号 田川地区広域環境衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

**内容** 田川市郡8市町村で共同設置している田川地区斎場組合と広域環境衛生施設組合を統合するため、8市町村で4議案の議決を求めるもの。統合で業務の効率化や経営の合理化を図り、経費削減が期待できる。

**経費削減の算定根拠は。**

**A**金額のシミュレーションはない。事務の人員不足など斎場組合が抱える課題を解消するため、事務を統一することで、効率化を図り、経費削減になると考える。

### 原案可決

### かわらっこパークのオープンに向けて

議案第49号 香春町子育て支援及び地域賑わい創出施設の設置及び管理に関する条例の制定について

**内容** 旧香春小学校のグラウンド部分に整備する子ども広場や賑わい創出施設等の設置及び管理に関する条例。

**賑わい創出施設とは。**

**A**商工会の創業支援セミナーを受講した方の事業展開を手助けするため、賑わい創出施設として4つの店舗を整備し、利用していただく。



令和9年春オープン予定

# 夢ふくらむ

## 原案可決

### 町道の認定1件廃止2件

議案第53号 町道路線の認定及び廃止について

**内容** 開発許可の関係により認定する町道が1件、地元要望や道路の形状がないため廃止する町道が2件。

- Q**町道を廃止して農道にするメリットは。  
**A**道に隣接する田の所有者が管理することになり、地元で農業がしやすい環境づくりができる。

## 原案可決

### 多様な課題に対応するために

議案第50号 香春町地域保健福祉総合計画審議会条例の制定について

**内容** 福祉、高齢者、健康等の分野ごとにある個別計画は、縦割りの仕組みであったため、複合的な課題にも対応もできるよう、総合計画を策定し審議するための審議会を設置する条例。

- Q**審議委員17名に議員が入る予定は。  
**A**福祉に関連する団体を想定しており、検討する。

## 同意

### 教育委員会委員の任命



**新** みやはら えり  
**宮原 絵理氏**  
(採銅所2区)

任期は4年間

令和7年12月24日～令和11年12月23日

## 同意

### 教育委員会教育長の任命



**再** いわおく しょういち  
**岩奥 正一氏**  
(中津原区)

任期は3年間

令和7年12月24日～令和10年12月23日

## 原案可決

発議第6号 生活保護の夏季加算を求める意見書の提出について

提出者 山下 剛 議員 賛成者 下村 和子 議員

**内容** 冬は暖房費の冬季加算が支給されていることから、夏も熱中症予防のために、エアコンを安心して使えるよう、生活保護の夏季加算の制度化を求める意見書。

地方自治法の規定に基づき、意見書を国に提出しました。

## 厚生建設産業常任委員会町内視察

## 町道の認定路線と廃止路線を確認

12月12日（金）に町道の認定路線1件と廃止路線2件の現地を確認し、担当課から認定及び廃止の説明を受けました。



認定路線 松崎～松崎線（採銅所）

総務文教常任委員会 合同視察  
厚生建設産業常任委員会

## 令和8年4月オープンの「かばる」を確認

12月12日（金）に子育て支援施設「かばる」の竣工状況を確認。子どもをはじめ、地域の方々が集い、交流することで地域が活性化していくことに期待しています。



子育て支援施設「かばる」

## スポーツ振興と健康の増進に向けて

10月6日（月）にスポーツクラブかわらと議会活性化検討委員会が意見交換しました。



## スポーツクラブかわら

- ▶ 仕事と指導の両立が難しく、指導者不足
- ▶ 総合運動公園のトイレなど改修してほしい
- ▶ ヘルスアップ教室など町と連携して活動

## 議会活性化検討委員会

- ▶ 講習費用の補助拡大が必要
- ▶ 施設の改修計画を確認する
- ▶ 幼児から高齢者まで参加できるイベントを

意見交換した内容をまとめ、12月定例会で議会活性化検討委員会の代表質問を行いました。引き続き、議会活動のテーマに関連した団体と意見交換を行っていきます。（関連記事P8）

## 先進地視察を実施

11月19日（水）佐賀県武雄市



テーマ  
「有害鳥獣とイノシン減容化施設の整備・運営」

- ▶ イノシン減容化施設で資源化し、循環型社会に取り組んでいる
- ▶ イノシンパトロール隊を雇用し有害鳥獣の捕獲を実施している

11月20日（木）佐賀県大町町



テーマ  
「防災・減災への取り組み」

- ▶ 地域おこし協力隊が各地区に行き、地域災害の周知をしている
- ▶ 平常時は防災研修やセミナーを行い、災害時は支援団体が活動する拠点がある

12月16日の全員協議会で先進地の取り組みや課題を整理し、当町の課題を共有しました。地域の実情を踏まえつつ、事業の改善に活かしていきます。

# 傍聴者の声

12月定例

本会議を傍聴していただきありがとうございます。皆様からいただきました意見（要旨）を掲載するとともに、内容は全員協議会で共有し、今後の改善に役立てます。引き続きアンケートへのご協力をお願いします。

## 町政の将来のためにビジョンを描く議論に期待したい。（60代）

▶ 当町が抱える様々な課題に対し、議会と執行部が政策議論できるよう、しっかり取り組んでまいります。

## 議員の質問に対して、人によってマイクの音量が違い聞きづらい。（60代）

▶ 声が小さい場合など、状況にあわせて音量を変更する対応をしています。発言をする際は、しっかりとマイクの前で行うよう取り組んでまいります。

## 公共交通問題は他市町村をよく研究してもらいたい。（70代）

▶ 引き続き、執行部及び議会で調査研究に努めます。

### 傍聴者アンケート

- 年齢は？  
60代…3人 70代…5人 80代以上…1人
- 傍聴回数？  
初めて…2人 2～4回目…4人 5回目以上…3人
- 傍聴理由は？（複数回答可）  
町議会や町政に関心がある…8件  
関心がある議案が提出されている…2件  
議員の質問内容に関心がある…7件  
議員の応援のため…2件  
知人、友人等に誘われた…1件

### 復旧・復興支援のため 義援金を贈呈

令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害により被害を受けた皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。被災された方々への支援として、11月9日に開催された秋まつりで、議員の店を出店し、募金活動を行いました。その結果、議員の店の売上と募金額の計3万8,050円を義援金として香春町へ贈呈しました。この義援金は、香春町から日本赤十字社を通じて被災した自治体へと配分されます。ご協力ありがとうございました。

前号No.105のP2で、議員と語ろう会の意見をまとめ、町への要望内容を今号で掲載するとお知らせしておりましたが、次号で要望と回答内容を掲載することに变更いたしました。ご理解をよろしくお願いいたします。

### 令和8年消防出初式

1月11日（日）に香春町消防団出初式が挙行されました。防火や防災に努め、町民が安心して暮らせるまちづくりの一翼を担っていただいていることに感謝申し上げます。



**消防団員 募集!!** ✓町内に居住、又は勤務する人  
✓年齢18歳以上の人 ✓健康な人

自分たちの町を自分たちの手で守る!

そんな熱い思いの人を募集しています。

詳しくは、総務課（☎32-2511）▶



スポーツと清掃で新しいイベントを

町長

健康と美化の融合を検証する



議会活性化検討委員会 代表質問

やました たけし 山下 剛 議員

**問** 指導者不足を解消するため、資格取得費用の補助制度を新設する考えは。

**答** 池本生涯学習課長

現在、スポーツクラブからへの負担金の中に指導者研修費が含まれており、人材育成を行っているとは認識している。

**問** 集落支援員や地域おこし協力隊などの人的資源をスポーツ指導に活用しては。

**答** 池本生涯学習課長

活用を含めて検討中。

部活動の地域移行は

**問** 部活動の地域移行の進捗は。また、生徒の声をどう反映させるか。

**答** 岩奥教育長

令和5年度に検討委員会を設置。生徒ファーストを基本とし、令和9年度中の移行開始を目指し進める。

スポーツ施設の維持管理・改修は

**問** 総合運動公園にあるテニスコートとプールを改修する計画は。

**答** 池本生涯学習課長

テニスコートは来年度に半面の更新工事を予定。プールは令和7年度で事業廃止し、当面は消防水利で現状維持。



老朽化したテニスコート

**問** 照明のLED化、トイレの改修及びトレーニング施設の設置など、整備する優先順位と財源は。

**答** 池本生涯学習課長

テニスコート更新と照明LED化を計画。トイレ改修も検討中だが具体的な時期は未定。トレーニング施設は補助金がなく、管理体制を含め検討中。

**問** トレーニング施設を設置する決意はあるか。

**答** 鶴我町長

利用対象や経費を再検討した上で判断。

ニユーススポーツとクリン作戦の融合を

**問** スポーツフェスタ事業をスポーツクラブかわらに運営委託しては。

**答** 池本生涯学習課長

現在は町主催で実施。スポーツクラブかわらへの委託は相談の上で判断。

**問** 参加者が減っているクリーン作戦を、健康アプリやスポーツと融合させ、町全体のイベントにする考えは。

**答** 鶴我町長

他自治体の事例を検証し、健康増進と美化の両立ができる制度設計を検討する。

**問** 縦割り行政を排し、町長をトップとする「健康スポーツ推進本部」のような横断的な組織を作る考えは。

**答** 鶴我町長

どのような形がベストか考えていきたい。

制度が変わったマイナンバーカード

町長

カードの必要性を周知していく



藤井 清孝 議員

**問** 現在の当町の保有状況は。

**答** 進税務住民課長

国全体の保有枚数率が80%、当町は76・3%。

**問** 特急発行を使えば、原則1週間で届くが。

**答** 進税務住民課長

特急発行の手続きは可能。費用は2千円で、1週間程度で届く。

**問** 再発行の費用や期間は。

**答** 進税務住民課長

再交付代が1千円で、約1ヶ月程度かかる。



カードの見本



**問** 目隠しのカードケースは必要か。

**答** 進税務住民課長

番号を知られても不正使用される可能性は低い。現在の運用状況では必要性は低い。

**問** マイナ保険証で、国民健康保険と後期高齢者医療に紐づけた当町の人数は。

**答** 佐野保険健康課長

国民健康保険では、被保険者2019人のうち1377人で68%。後期高齢者医療では、被保険者2279人のうち1620人で71・1%。

**問** マイナ保険証を持たない人は、資格確認書で診察できるが、資格確認書の有効期限は何年か。

**答** 佐野保険健康課長

国民健康保険と後期高齢者医療では、1年である。

**問** 田川地区では導入されていないが、救急隊員がマイナ保険証で処方薬やかかりつけの病院など医療情報を確認できるマイナ救急がある。制度のメリットを住民に周知するべきでは。

**答** 佐野保険健康課長

活用される機能は住民に周知したい。

**問** 2026年4月から介護保険でもマイナンバーカードが紐づけされる情報があるが。

**答** 佐野保険健康課長

国が医療情報と同じように、介護情報も運用できる環境整備をしている。

**問** マイナンバーカードのメリットをもっと周知し、全町民がマイナンバーカードを持つことで、生活しやすい環境を整える施策が必要であ

る。例えば、給付金の支給に導入しては。

**答** 鶴我町長

当町では丁寧で間違いなく給付できる方法で対応している。カードが普及すれば、実現可能につながる事業もあるため、町民に周知したい。



マイナンバーカードの活用を



議員の思い

定例会

委員会活動

傍聴者の声

一般質問

北九州市と協定し企業誘致を

町長

必要な状況が発生すれば取り組む



やまおか とおる 山岡 徹 議員

地域交通は

問 町外運行や土日運行を地域公共交通会議で話し合ったか。

答 国安まちづくり課長

利用者アンケートの結果で、町外運行や土日運行の希望が多いことを報告した。

鳥獣被害は

問 現在の捕獲数は。

答 岩丸産業振興課長

11月末時点で、イノシシ47頭、シカ91頭、アナグマ15頭、アライグマ33頭の計186頭。

問 捕獲目標数は。

答 岩丸産業振興課長

イノシシ250頭、シカ120頭、サル50頭、アナグマ30頭、アライグマ20頭の計470頭。

今後、猟友会の加入者が増えた場合、考えていく。

問 町としてもっと頑張ってもらいたい。

答 岩丸産業振興課長

報償金、免許取得費、わな購入費など、手厚く助成していくことを検討している。

答 島ノ江副町長

私も一緒に武雄市で勉強させていただいた。当町は狩猟人数が少ないなどの課題があり、検討していく。



企業誘致に

問 町が一丸となって企業誘致を。

答 鶴我町長

まず香春中学校跡地の企業誘致をしていきたい。

不登校問題は

問 不登校の児童生徒数は。

答 加々見学校教育課長

昨年度は64名。本年度は10月末で23名。

問 今後の対策は。安心できる居場所はあるか。

答 加々見学校教育課長

スクールソーシャルワーカー、カウンセラー、支援員等を配置している。また、登校サポート教室を設置し対応している。

問 医療に1台、買い物に1台増やして、町外運行を。

答 国安まちづくり課長

いろいろな協議をしているが、運転手不足もあり難しい。

答 島ノ江副町長

現在、議論している。町外に行かないというわけではなく、慎重に取り組んでいく。

問 武雄市の捕獲報償金はイノシシ1頭で1万8千円、

当町は9千円である。捕獲費用を上げて猟友会を活性化してほしい。

答 岩丸産業振興課長

武雄市は九州でも農業の先進的な地区と認識している。



効果的な対策を

中学生の海外派遣事業は

生涯学習課長  
来年度英語圏の台湾に派遣予定



村上 ひとし 議員

国際性の養成は

**問** 近隣自治体では子ども達の国際性を養成する事業を積極的に行っている。本町はどうか。

**答** 岩奥教育長  
教育振興基本計画に「国際社会をたくましく生きていく人材の育成」を掲げており、教職員の外国語研修会への派遣やALT（外国語指導助手）を活用した授業を通して、英語教育の充実を目指している。

**問** 英語教育の具体的な取り組みは。

**答** 加々見学校教育課長  
ALTによる授業を前期課程1・2年生で年間各10コマ、3・4年生で年間各35コマ実施。後期課程では8年生が海外とのオンライン英会話を年間4回実施。また、海外居住経験者が指導する英語部がある。



台湾の大業国民実験中学校と生徒交流

町内の地価評価は

**問** 町税の一つである固定資産税はどうか。

**答** 進税務住民課長  
6年度収納額は4億1413万円で、内訳は土地1億151万円、家屋2億282万円、償却資産9980万円となっており、町税全体の47%を占めている。

**問** 9月に県内基準地価が公表され、当町の平均地価は住宅地と商業地で本年度も下落評価となった。しかし、田川地区では横ばい評価の町もある。下落評価が続く結果をどのように見ているか。

**答** 鶴我町長  
このような状態が続くことは残念である。まちづくりをしっかりと進めながら、地価が上昇する施策に取り組みたい。

**問** 当町の商業地基準点が県内下落率トップ7位となり、地価下落は資産価値の減少に繋がる。下落要因は、商業地基準点の付近にあるストックヤードが影響しているのではないか。

**答** 鶴我町長  
ストックヤードの町外からの移転は、施設が立ち上がるまで把握できなかった。住民生活に迷惑が生じないように、事業者へお願いするとともに、町の魅力を高め、定住者を増やし、土地評価が上がるように努めたい。

その他に、生活排水処理事業及び観光協会「香春10山」について質問した。

(単位：万円/m<sup>2</sup>)

地価評価基準点		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	5年間下落幅
住宅地	香春団地	1.25	1.24	1.23	1.22	1.21	▲0.04
	才立	1.38	1.37	1.36	1.35	1.34	▲0.04
	採銅所町	1.08	1.07	1.06	1.05	1.04	▲0.04
	高松団地	1.58	1.57	1.56	1.55	1.53	▲0.05
商業地	高野平町	2.20	2.15	2.12	2.09	2.06	▲0.14
全用途平均		1.50	1.48	1.47	1.45	1.44	▲0.06

香春町の基準地価推移

アンケートの分析結果はいつか

まちづくり課長  
来年の審議会のあとに報告する



ふくしま ひろゆき  
福島 浩之 議員

**問** かわらくバスの小型化は、

**答** 国安まちづくり課長

多くて2人から3人が乗り合っているため、トヨタのシエンタやホンダのフリードのような小型の車両を検討。



小型化の車両イメージ

**問** ゆめマートまで運行できないか。

**答** 鶴我町長

スーパー川食が撤退すれば、一本松地域の方が買い物に行く場所がなくなり、悪循環を招くと考える。適切な時期で運用を変えることはあるかもしれないが、今あるスーパーを望む方々のことも考えていけないといけない。

**問** 土曜日運行は、

**答** 国安まちづくり課長

地域公共交通会議の中で検討している。事業者の協力も

必要であり、実施時期など協議をしていく。

**問** 土曜日運行をした場合、運賃の値上げは考えているか。

**答** 国安まちづくり課長

人件費や物価の高騰に伴い、今後は値上げも必要であると認識している。

**問** 交通事業者、行政、住民、住民組織など関係主体が連携することで、人材の確保や発掘する体制を構築できる。地域住民が、自家用車を持ち込み、ドライバードライバーとして運行する公共ライドシェアを取り入れては、

**答** 国安まちづくり課長  
検討していない。

**問** 前回、住民に対してのアンケート調査を提案したが、検討状況は、



採銅所地域コミュニティ協議会のみなクル号

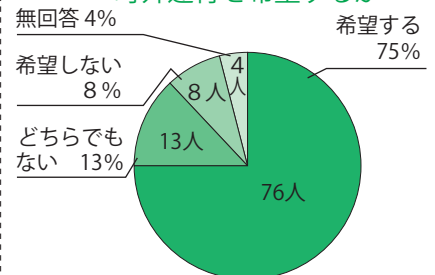
**答** 鶴我町長

第5次総合計画の後期計画の策定に伴うアンケートの中で、公共交通の項目も入れている。分析は年度内までに完了する予定で作業を進めている。町外の医療機関にどうつながりかなど、アンケート結果を基に判断していきたい。

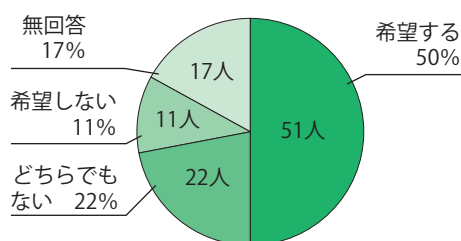
**答** 国安まちづくり課長

来年の公共交通審議会のタ イミングに合わせて、皆様にも報告できるように努める。

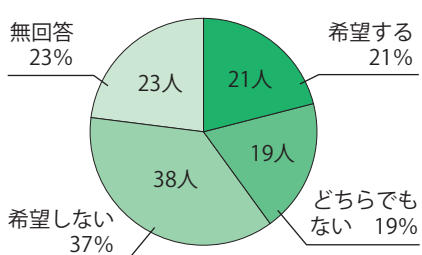
町外運行を希望するか



待ち時間が長くなっても町外運行を希望するか



タクシーと同程度の運賃になっても町外運行を希望するか



かわらくバス利用者のアンケート結果（令和7年4月実施）

## 職員研修で町民目線の役場へ

町長

## 町民の視点に立って役割を果たす



まつお 大坪 議員

**問** 行政の役割を果たすためには職員研修が一番大事。研修状況は。

**答** 江藤総務課長

市町村職員研修所で行われるOJT研修など積極的に参加している。また、自発的に自己啓発研修を受ける職員には、費用の半額を助成。

**問** eラーニング研修（オンライン研修）などに取り組む考えは。

**答** 鶴我町長

町村会主催の研修に職員を派遣するなど、町政に役立つ外部研修に取り組んでいる。

## なぜ町外いけないかわらくバス

**問** 他町は町外運行しているが、なぜ当町はできない。運行の在り方を工夫しては。

**答** 国安まちづくり課長

他町は廃線となったバス路線の代替として町外運行している。当町は、特急バス延伸など官民連携し実施している。

**問** たまには大きなスーパーで買い物をしたい。町民目線の考えは無いのか。

町民目線の考えは無いのか。

## 香春思永館は

**問** 学びの多様化学校の早期実現を。

**答** 岩奥教育長

田川郡教育長会で取り上げており、実現に向けて検討中。

**問** ふるさと学習はどのような取り組みか。

**答** 加々見学校教育課長

香春思永館の特徴を活かし、前期と後期の児童生徒を縦割りにして、ふるさと学習を実施。地域学校共働活動では、タケノコ掘りや稲作体験など

を行っている。

**問** 児童生徒の性犯罪対策は。

**答** 加々見学校教育課長

県から派遣されるアドバイザーと警察官による指導を行っている。



ふるさと学習

## 荒廃竹林は

**問** 荒廃竹林拡大の対策は。

**答** 岩丸産業振興課長

補助金に作業道の整備メニ

ューを追加して対応している。

**問** 個人で作業道整備は出来ない。町での対応を望む。

**答** 鶴我町長

長年使用できるようにコンクリートによる道路整備を考



竹林の整備を

議員の想い

定例会

委員会活動

傍聴者の声

一般質問

# 投票申請のオンライン化は

総務課長

## 次回選挙から導入したい



ながまつ しんいち  
永松 伸一 議員

**問** 町外滞在者の負担軽減のため、導入しては。

**答** 江藤総務課長

オンライン化は請求手続の迅速化や投票率向上が期待でき、メリットが大きい。次回選挙から導入したい。決定次第、広報、ホームページ、SNS等を活用し周知していく。

### 部活動前に補食を

**問** 香春思永館では補食の持ち込みが原則禁止となっている。成長期の児童生徒のエネルギー不足が懸念されるた

め、ルールを設け、パウチ食品など限定した補食をとれるようにしては。

**答** 加々見学校教育課長

現在、給食後は補食なしで部活動を行っている。食生活のリズムが乱れる懸念があり、校内ルール変更には学校内での協議が必要。提案内容は学校へ伝える。



エネルギー補給を

### 上清団地周辺の計画は

**問** 消防団格納庫の建替以外の整備計画は。

**答** 松本住宅水道課長

令和8年度に集会所を建替予定。開発許可の検査完了まで、ほかの行為ができない事業である。



建替予定の第6分団の格納庫

**問** 旧香春小学校の公園まで遠い地域もある。各地域に公園や高齢者向けの健康器具を整備する考えは。

**答** 国安まちづくり課長

地域ごとの公園整備計画はない。かわらっこパークには大人も使える健康器具を設置する予定。

**答** 佐野保険健康課長

地区公民館で運動教室を実施している。推進しフレイル予防に努める。

**答** 鶴我町長

各コミュニティ協議会の意見を踏まえ、将来的な必要性を検討していく。

### タクシー利用助成券は

**問** 家族以外の同乗を不可にしている理由は。また、助成事業を継続する考えは。

**答** 国安まちづくり課長

利用目的の実証調査を行うため、介護等の付添いのみ可としている。事業の継続は、実証結果を見てから判断する。



事業の継続を

その他、重点支援地方交付金について質問した。

旧香春小通学路の安全確保を

学校教育課長  
今後は改良工事の中で対応する



しもむら かずこ 議員  
下村 和子

**問** 旧香春小学校前の川沿いの通学路は、工事で歩道幅が狭くなり非常に危ない。見守りボランティアの方が3月と9月に町に要望したが。

**答** 加々見学校教育課長  
道路工事の影響で、12月1日からスクールバスに乗りしている。

**答** 加々見学校教育課長  
要望時は、70センチぐらいのグリーンベルトが確保されており、登下校に支障はないと判断した。

**問** 車はスピードを上げて通行しており、グリーンベルトはでこぼこで歩きづらく、危険な道を子供たちは歩いている。すぐに対処すべきことではないか。



安全確保を

タクシー利用助成金は

**問** 通院等で利用する高齢者にとっても喜ばれている。2月末までが使用期限だが、物価高騰は続いている。3月以降も交付を継続できないか。

**答** 国安まちづくり課長  
事業効果を検証し、考える。

災害時の指定緊急避難場所であり、コロナやインフルエンザ対応を考えると、広い避難所である体育センターに空調が必要ではないか。

**答** 江藤総務課長  
ペットの避難対応など、空調がない施設でも避難所として活用ができる。

空調設備は

**問** 体育センターで9月に開催されたスポーツフェスタで、高齢者は暑くて窓際で座り込んでいた。他のスポーツクラブも8月は猛暑で活動を休んだと聞いた。空調を整備しては。

**答** 池本生涯学習課長  
体育センターは築40年以上であり、空調を設置できる構造になっていない。

敬老祝金は

**問** 敬老行事運営補助金の1人1千500円では、物価高騰により地域で敬老会ができないとの声がある。平成25年からの金額であり、見直しはどうか。

**答** 佐野保険健康課長  
物価高騰の状況を加味して検討中。

**問** いつまでに検討するのか。

**答** 佐野保険健康課長  
令和8年度当初予算の編成に向けて検討中。

移動販売車は

**問** 道の駅の移動販売車は、車のない高齢者に喜ばれているが、2箇所目3箇所目になると品薄になっている。補充できないかと言う声が多くあるが。

**答** 岩丸産業振興課長  
午前が終わった後に1度補充をしているが、その他のタイミングの補充は難しい。訪問販売も活用してほしい。

**問** 道の駅の集客率を上げるため、様々なイベントを考えては。

**答** 岩丸産業振興課長  
複数回に分けて創意工夫したイベントを実施している。

DX推進と定住支援で町に活力を

町長

デジタル化と手厚い支援で住みよい町へ



やました たけし 議員

移住・定住促進に向けた支援拡充を

建築費高騰を踏まえ、新築支援交付金を「二世帯あたり最大100万」から「一人あたり100万円の最大500万円」へ大幅拡充し、子育て世帯へ強力にPRすべきでは。

医療環境の確保と中心地の活性化は

鶴我町長 今後は家が悪くなる前の修繕の支援も考えていきたい。

鶴我町長 医療確保は喫緊の課題だ。役場周辺の土地活用を含め、専門家の意見も聞きながら、コンパクトシティ化に向けた将来像を検討していく。

業務効率化と住民サービス向上のため、DXとペーパーレス化の数値目標や職員への研修計画はどうなっているか。

江藤総務課長

印刷枚数は減少傾向にあるが、現在は具体的な数値目標はない。ペーパーレス会議の推進や職員研修を実施しているが、中長期的な計画での推進が必要。

書かない窓口など、オンライン申請の推進は。

江藤総務課長

国が住民サービス向上を目的にフロントヤード（窓口、電話、ウェブサイト）改革を進めている。オンライン申請の拡充やワンストップ化を検討し、町民の利便性を高める。

既存住宅のリフォーム補助を新設する考えは。

鶴我町長

提案は大きなインパクトがある。将来への投資とし、町独自の支援を議論し検討する。

空き家・空き地バンクに掲載された物件の補助はあるが、住んでいる家への補助はない。対象数も多く、事業効果の見極めが難しい。

国安まちづくり課長

国安まちづくり課長

DXとは

デジタル技術を活用し、仕事のやり方や暮らしを便利なものに変えること。



書かない窓口の推進を



有効活用を

災害時のペット同伴避難は

総務課長  
今後、体制を整え広く周知する



みむら 三村 しんや 信也 議員

ワンヘルスと防災

**問** 9月1日に、人・動物・環境の健康を一体で守るワンヘルス推進を宣言された。今後の予定は。

**答** 鶴我町長  
ワンヘルスには、私達が生活する上で本当に大事な中身が入っている。その理念に基づき、今後、しっかりと総合計画の中に落とし込んでいく。

**問** 災害避難時におけるペットの同伴は。



11月に視察したペット同伴避難可能な日本レスキュー協会施設「モアワン」(佐賀県大町町)

**答** 江藤総務課長  
現在、ペット同伴の避難を希望する住民がいる場合、体育センターを案内している。今後、ペットのために自宅からの避難を躊躇する方が出ないように、防災計画に体制を組み込み、住民への周知に取り組む。

町内に住む  
外国人との共生

**問** 現在の外国人居住者の人数は。

**答** 進税務住民課長  
令和4年度末で44人、令和7年8月末で79人。国籍別では、インドネシア35人、韓国12人、ベトナム9人、フィリピン9人、中国4人、その他6か国で3人から1人の住民登録があり、増加傾向。

**問** 外国人居住者への災害時の情報伝達は。

**答** 江藤総務課長  
まだ十分対応できていない。人数の増加に伴い、より一層災害時等での対応が必要。伝達体制を整えていく。

庁舎入り口の改善

**問** 庁舎入り口の休憩・待合スペースを、利用者が滞りなく整備する考えは。

**答** 国安まちづくり課長  
窓口改革や待合スペースを含め、全体像を見て、考えていきたい。



改善が望まれる庁舎入り口の休憩・待合スペース

**問** 総合案内の開始時期と1日の対応時間は。

**答** 江藤総務課長  
運用記録として残っている

**問** 働き方改革と行政DXの観点で、総合案内にデジタルサイン(電子案内板)を導入する考えは。

**答** 江藤総務課長  
人件費の課題もあるが、職員による案内にもメリットがある。今後は、デジタルサイン導入も含め、住民の方が迷うことのないよう、ワンストップで効率的な窓口運営を目指したい。

その他、飼い主のいない猫対策、子育て支援拠点かばるでの図書機能、メガソーラー条  
例制定について質問した。

人口減少に歯止めをかける方策は

まちづくり課長  
企業誘致や移住定住に力を入れる



すずき おさむ  
鈴木 治 議員

ネーミングライツ

**問** 取組み事例と今後は。

**答** 池本生涯学習課長  
今のところない。

**問** どのようなことが可能であるか分析していきたい。

**答** 鶴我町長

香春思永館部活動は

**問** 部活動は、教育の延長だと思つが。

**答** 岩奥教育長  
部活動も、学校の教育活動の一環と考えている。

**問** 今後、夏の大会や新人戦の時は、無料で送迎できないか。

**答** 岩奥教育長  
前向きに考えていきたい。



無料で送迎を

敬老福祉祝金は

**問** 祝金制度が変わった時期と理由は。

**答** 佐野保険健康課長  
平成19年度からで、国の三位一体の改革の影響を受け、町全体の事業の見直しが行われたためである。

**問** 現行制度を見直す考えはあるか。

**答** 鶴我町長  
これからの社会状況を踏まえ考えていく。

**問** 令和6年度の出生数・死亡数・転入数・転出数は。

**答** 進税務住民課長

出生数29人、死亡数198人、転入数307人、転出数342人。

**問** 今後の人口推計は。

**答** 国安まちづくり課長

令和2年度の国勢調査が1万1911人で、令和32年の推計は5千798人。

**問** その影響は。

**答** 国安まちづくり課長

空き家の増加・地域コミュニティの希薄化などのほか、

町の財政に結構大きな打撃も来るだろうと考えている。

**問** 対策として取り組んでいる内容は。

**答** 国安まちづくり課長

香春町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、子育て支援に力を入れている。

**問** 今後の方針は。

**答** 国安まちづくり課長

企業誘致や移住定住のPRをしていきたい。

**問** 各施設の維持管理費における令和6年度の実績は。

**答** 池本生涯学習課長

町民センターと図書館67万903千34円、生涯学習センター1900万67円・体育センター1138万9千639円・総合運動公園2795万6千752円。

**問** 大会に出場するときの送迎方法は。

**答** 加々見学校教育課長

基本的には保護者の送迎で行っている。部費もしくは保護者の負担でスクールバスを利用している場合もある。

**問** バスを利用した部活動は。

**答** 加々見学校教育課長

吹奏楽部、陸上部、バスケットボール部。

**問** 1回の利用料は。

**答** 加々見学校教育課長  
生徒1人当たり500円。

自主防災組織の拡充を

総務課長

地域の防災体制を見直す



ながた たいち 議員

**問** 自主防災組織は、自分たちの地域は自分たちで守るといふ認識に基づき、地域住民が主体となって災害知識の普及・初期消火活動・情報の伝達などを担う共助の中心である。阪神淡路大震災をきっかけに重要性が認識され、地域で活動する不可欠な存在である。現在までの組織数は、

**答** 江藤総務課長

29の行政区で立ち上がっており、34組織ある。

**問** 大規模災害を想定した防災力の向上が必要では。



**答** 江藤総務課長  
 今後は大規模災害を前提とした体制や自助・共助の力が必ず必要となる。来年度、行政改革で防災安全係の設置を検討しており、防災体制の強化に取り組んでいく。



地域防災力の充実と強化を

**問** 平成23年に福岡県が自然災害に備えるため、地盤調査を行い土砂災害警戒区域が指定された。当町は山間部に覆われた地形であり、土砂災害などが懸念されるが、警戒区域の箇所数は。また、現地の状況確認は。

**答** 江藤総務課長

土砂災害警戒区域が97箇所あり、うち91箇所が特別警戒区域に指定されている。危険箇所の現地確認と把握は出来ていない。

**問** 災害支援の連携協定を締結されている福祉施設の数は。

**答** 江藤総務課長

福祉施設は4施設に留まっている。

**問** 災害時の連携協定の協定内容は。

**答** 江藤総務課長

4施設の協定内容は、具体的な事が示されていない。早急に具体化する。

**問** 高齢者などの町民がスムーズに避難でき、避難生活が送れるためには、災害時に備えての連携協定の締結が必要。今後の取り組みは。

**答** 江藤総務課長

要支援者の避難所として、特別養護老人ホームの2施設と協定の話を進めている。引き続き、協定箇所を増やしていきたい。

災害応援協定を締結している福祉施設
社会福祉法人香和会（梅寿園）
（株）コスモピア公和苑
（有）豊
社会福祉法人嘉穂郡社会福祉協会（湯山荘）

災害応援協定で迅速な対応を



# 輝く20歳の声

1月11日（日）に香春町町民センターで20歳を祝う集いが開催されました。インタビューのご協力ありがとうございました。

## 将来の 夢や目標を 聞きました

自分らしく  
楽しんで生きる

最強消防士  
ボディビルダー

人に寄り添える  
看護師

香春町の  
町長

中学校  
教師

金持ち

銀行員

発行責任者／議長 小松 新一



### 代表謝辞

(要約)

寺上 明光さん  
私たちは社会に出て、責任の重さと人の繋がりの大切さを実感しており、今日まで支えてくれた家族、友人、先生に深く感謝いたします。成人としての自覚を胸に、社会人としての責任を果たし、誠実に歩み、ふるさとや社会に貢献できる大人へと成長できるよう努力してまいります。



本田 美空さん

家族、先生、友人の支えがあって、今の自分があることを強く感じます。私は看護学生として、「誰かの力になれることの尊さ」や「命の重み」を日々実感しています。これからは支えられる側から支える側へと成長し、思いやりの心を持って、人に寄り添える大人になりたいです。

### 祝辞 (要約)

二十歳を迎えた  
みなさまへ

議長  
小松 新一



故郷である香春町で過ごした日々は、かけがえのない宝物です。学校行事といった集団活動で、仲間と協力してやり遂げた協調性と粘り強さこそが、これから始まる社会で、困難に立ち向かう力となります。自分の道を自らの意思で切り拓き、香春町で培った情熱を忘れずに、自らが信じる道を進んでください。私たちは、皆様の限りない可能性を信じ、心から応援しています。

次は3月議会 皆様の傍聴をお待ちしています！  
第1回定例議会 3月3日(火)～13日(金)開催予定